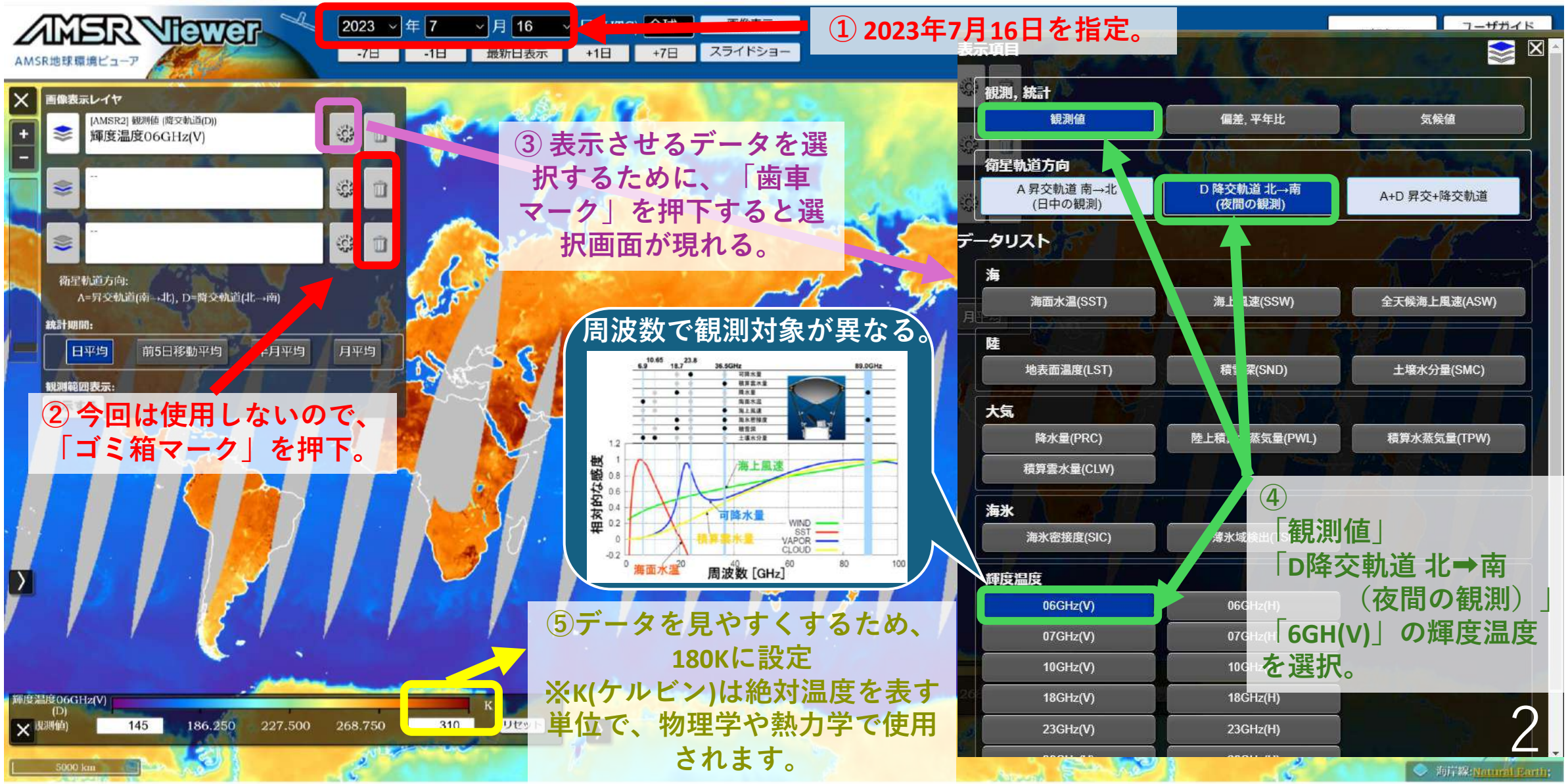
JAXAアカデミー
衛星リモートセンシングによる地球観測入門-地球観測ビューアを使って気候変動を考えよう-

AMSR地球環境ビューア　チュートリアル１.

輝度温度でどんなことが分かる？

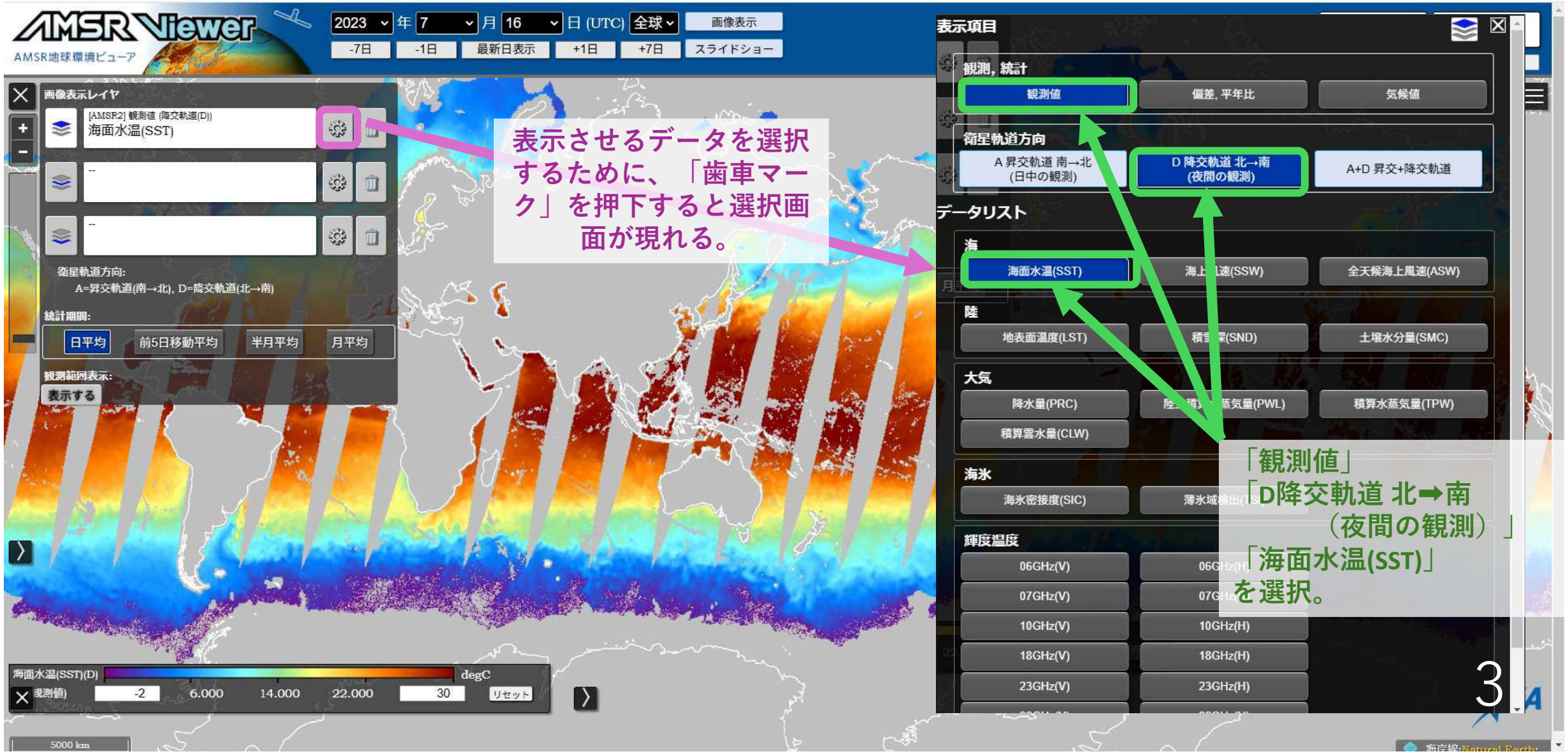
1. 輝度温度でどんなことが分かる？

6GHzでの輝度温度をみてみよう。



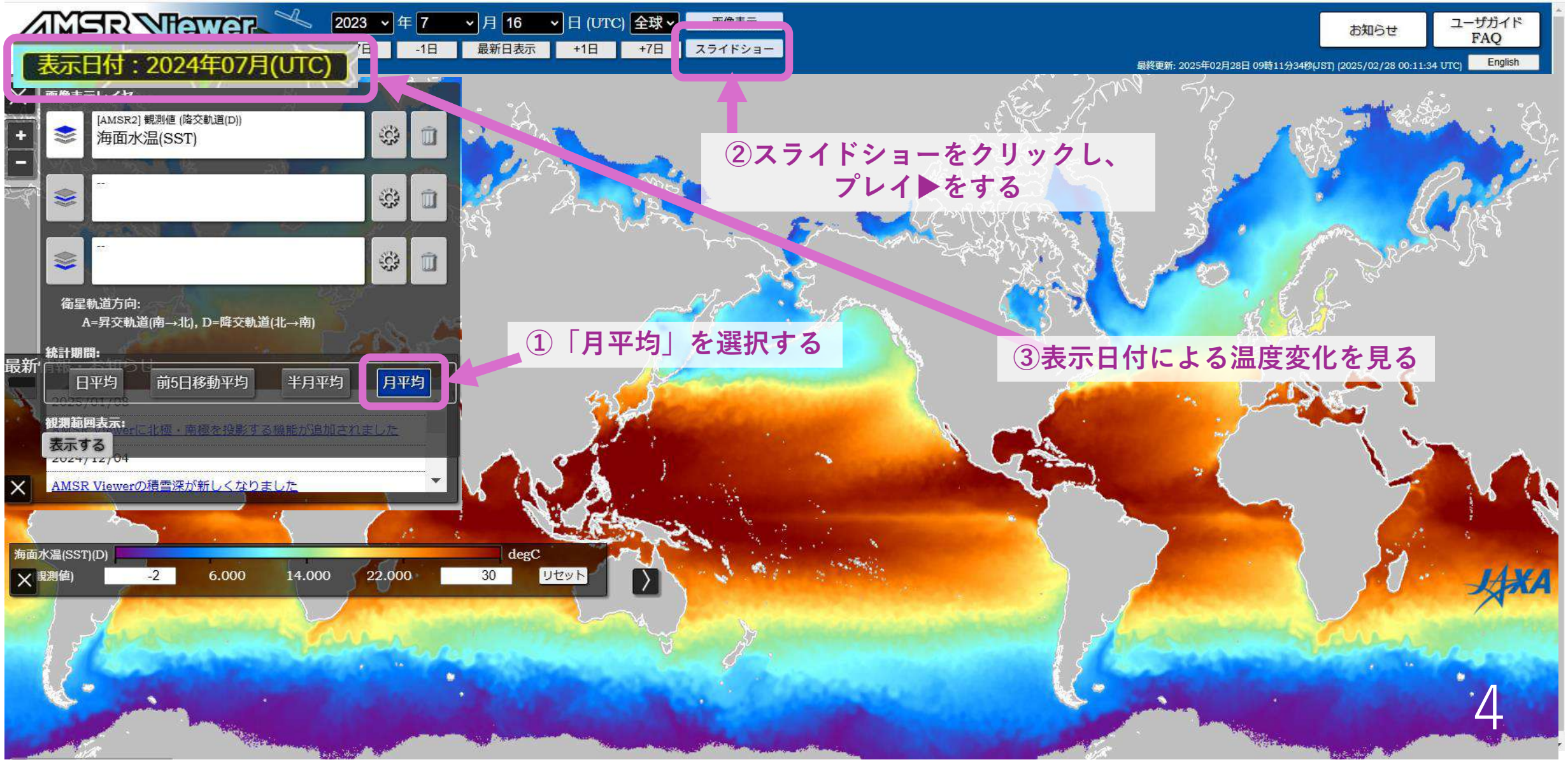
1. 輝度温度でどんなことが分かる？

6GHzの輝度温度を使って算出される「海面水温」をみてみよう。



1. 輝度温度でどんなことが分かる？

6GHzの輝度温度を使って算出される「海面水温」のスライドショーをみてみよう。



JAXAアカデミー
衛星リモートセンシングによる地球観測入門-地球観測ビューアを使って気候変動を考えよう-

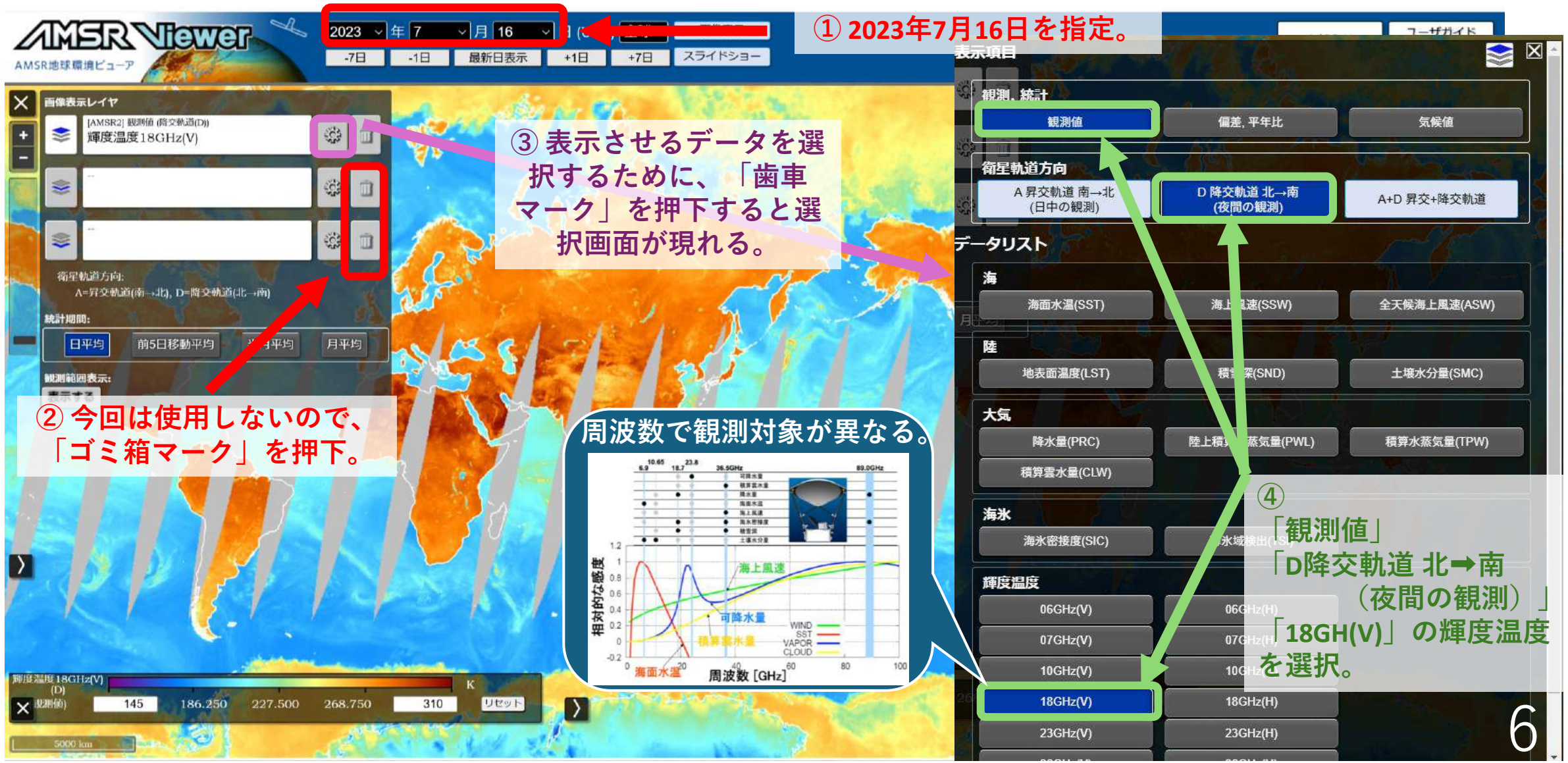
AMSR地球環境ビューア

チュートリアル２.

周波数によって観測対象が変わることを実感しよう

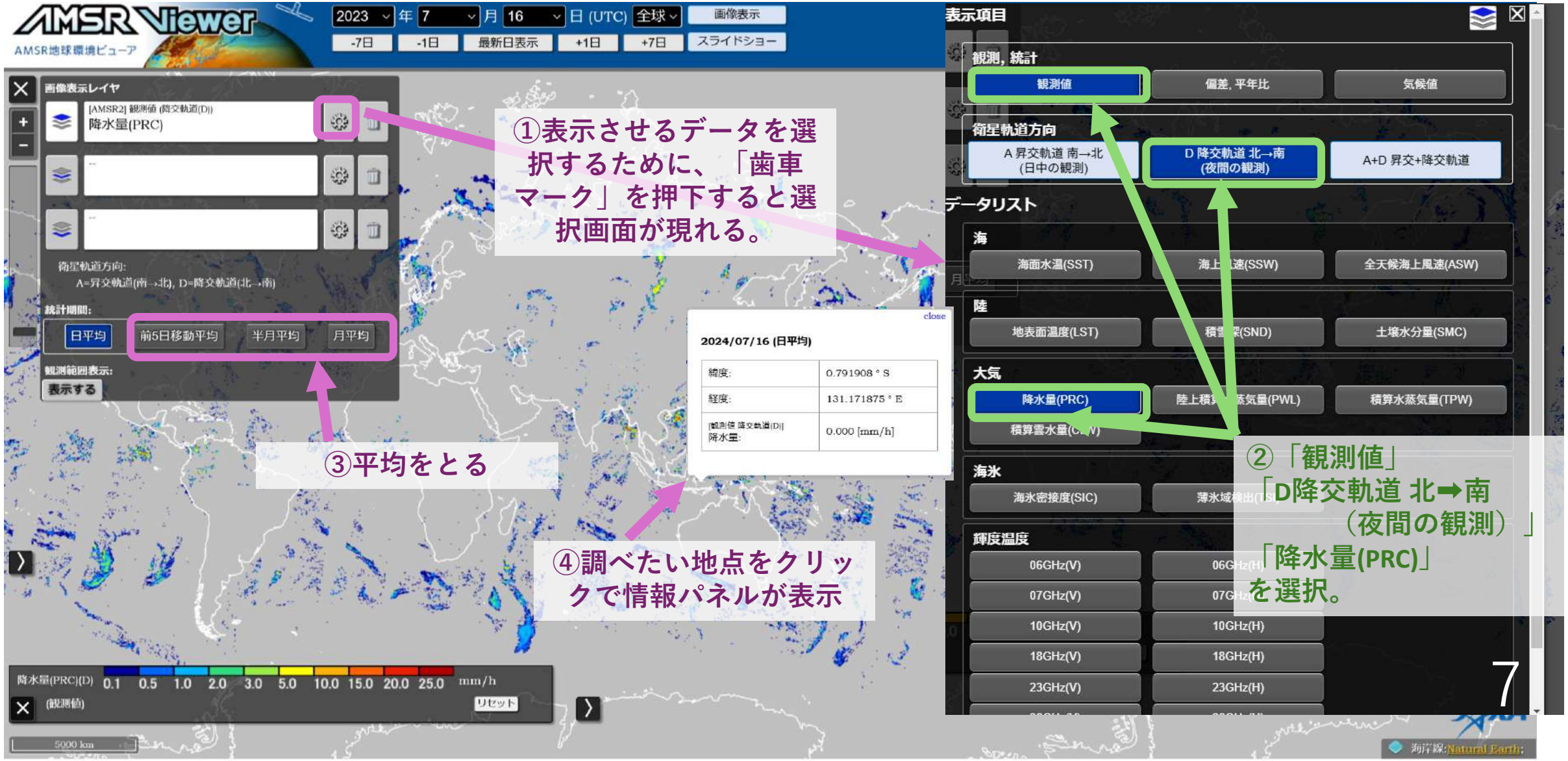
2. 周波数によって観測対象が変わることを実感しよう

18GHzでの輝度温度をみてみよう。



2. 周波数によって観測対象が変わることを実感しよう

18GHzの輝度温度を使って算出される「降水量」をみてみよう。
※実際には、36，89GHzの輝度温度と組み合わせて算出されています。



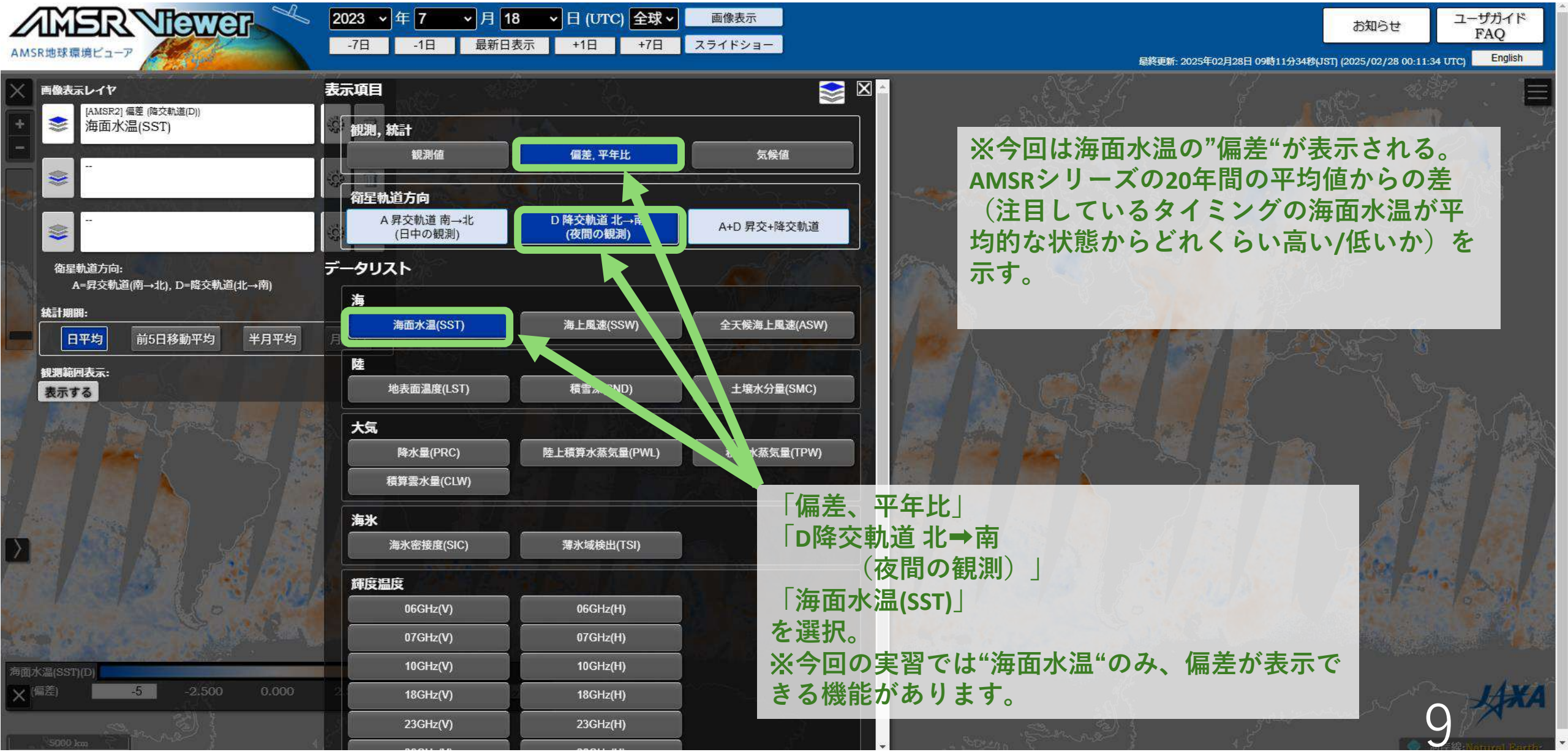
JAXAアカデミー
衛星リモートセンシングによる地球観測入門-地球観測ビューアを使って気候変動を考えよう-

AMSR地球環境ビューア

チュートリアル３.

異常を検知するには

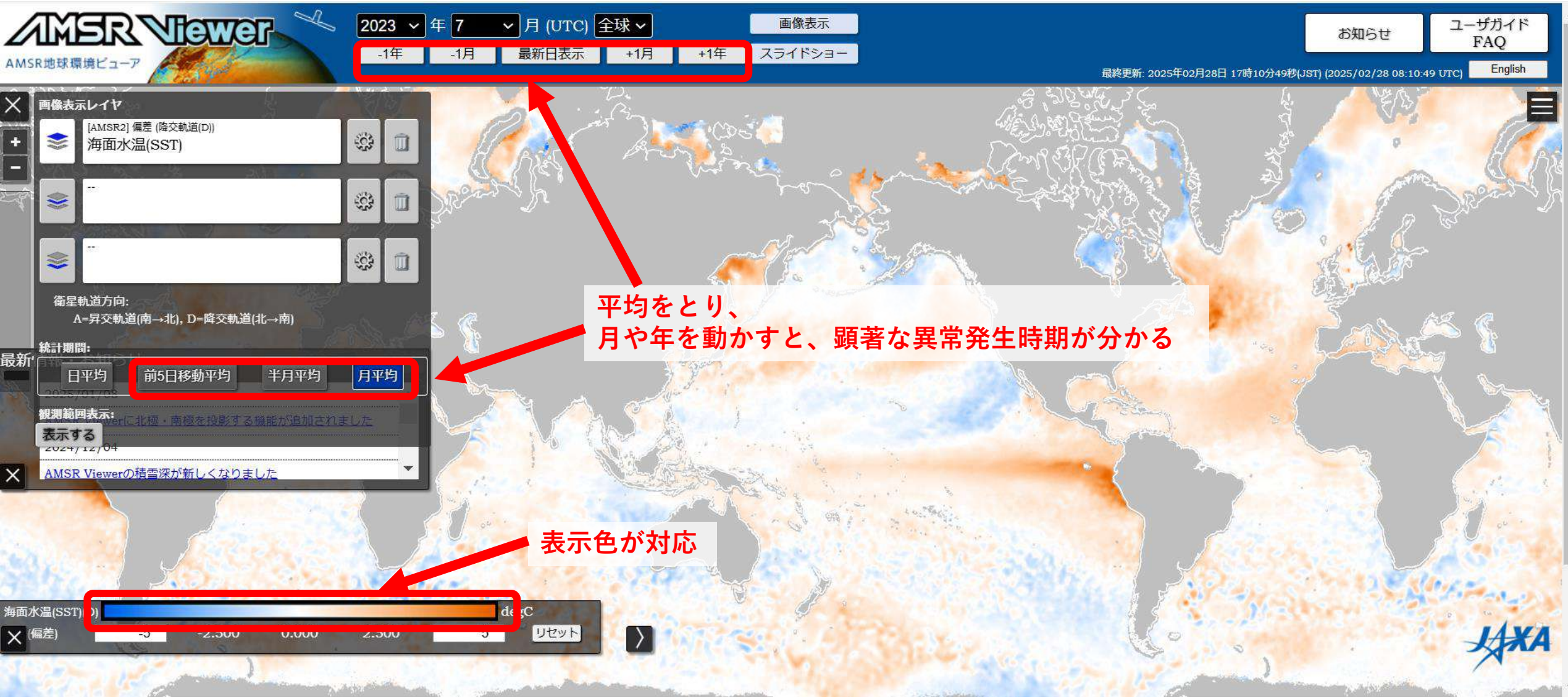
3. 異常を検知するには



※今回は海面水温の”偏差“が表示される。AMSRシリーズの20年間の平均値からの差（注目しているタイミングの海面水温が平均的な状態からどれくらい高い/低いか）を示す。

「偏差、平年比」
「D降交軌道 北➡南
（夜間の観測）」
「海面水温(SST)」
を選択。
※今回の実習では“海面水温“のみ、偏差が表示できる機能があります。

3. 異常を検知するには

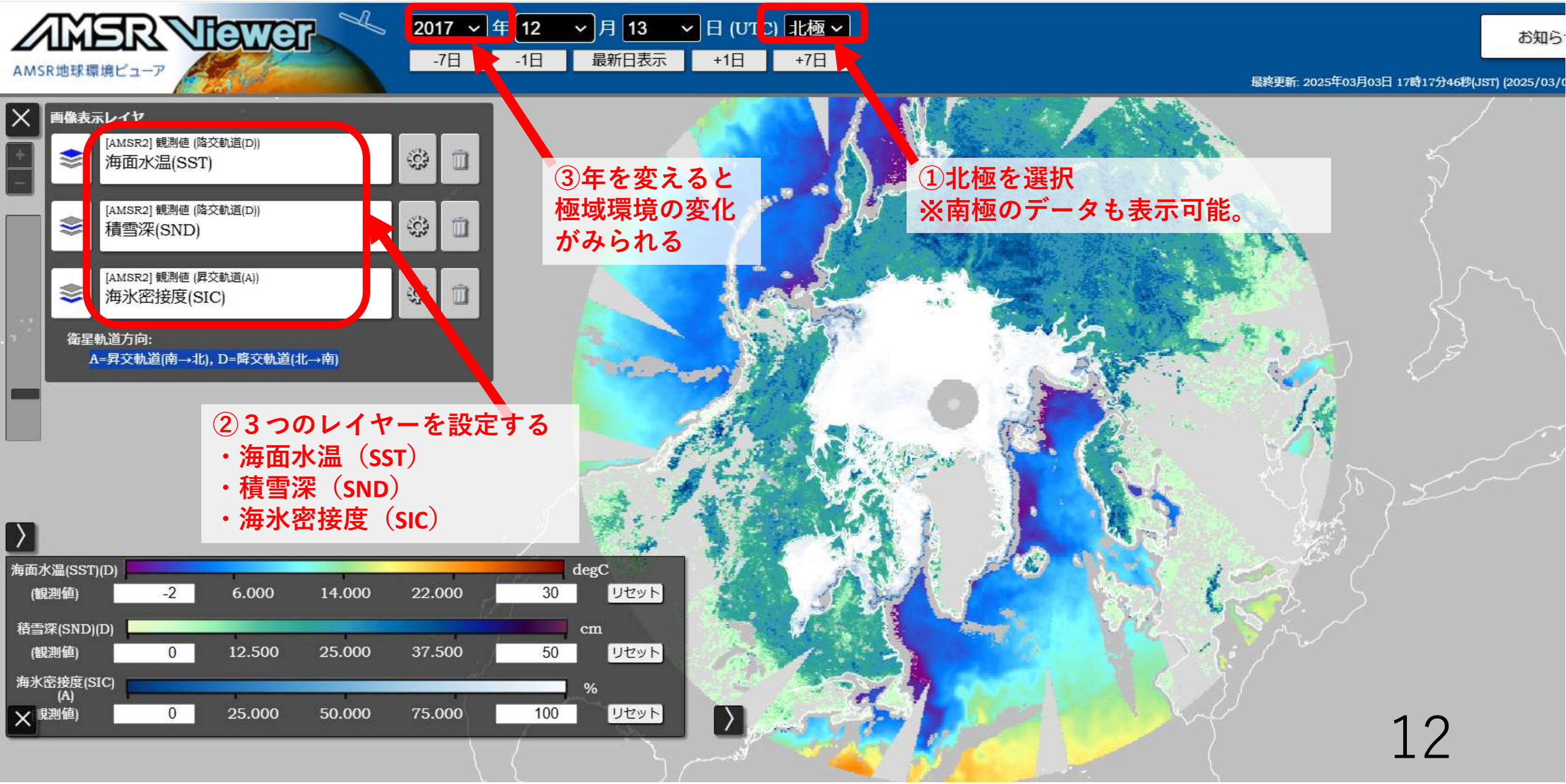

AMSR Viewer
AMSR地球環境ビューア
2023 年 7 月 (UTC) 全球
画像表示
-1年
-1月
最新日表示
+1月
+1年
スライドショー
お知らせ
ユーザガイド FAQ
最終更新: 2025年02月28日 17時10分49秒(JST) (2025/02/28 08:10:49 UTC)
English
画像表示レイヤ
[AMSR2] 偏差 (降交軌道(D))
海面水温(SST)
衛星軌道方向:
A=昇交軌道(南→北), D=降交軌道(北→南)
統計期間:
日平均
前5日移動平均
半月平均
月平均
観測範囲表示:
表示する
AMSR Viewerの積雪深が新しくなりました
平均をとり、
月や年を動かすと、顕著な異常発生時期が分かる
表示色が対応
海面水温(SST)
degC
(偏差)
リセット

JAXAアカデミー
衛星リモートセンシングによる地球観測入門-地球観測ビューアを使って気候変動を考えよう-

AMSR地球環境ビューア

チュートリアル４.

極域の表示について

※セミナー実習中には行いません

おまけ．極域を見るのもおすすめ